越谷町広報
（定価一部　二円）
編集と発行
埼玉県南埼玉郡
越谷町役場
電話越谷42,517,519,522番

深井戸ほりはじまる
上水道起工式行う

既報のとおり五千九百六十万円で落札した歴史的上水道工事の起工式は、去る十一日午後二時久伊豆神社西わき浄水場敷地に、多数の関係来賓者を迎え厳粛に挙行されました

総敷地八八四坪と野田越谷間国道を結ぶ取付道路工事大半完了の場面、並びにさく井工事の大ヤグラを背景に、起工式は久伊豆神社小林宮司の修祓の儀をもつて厳粛にはじめられました、厚生省、県関係、町内関係者、役場関係、浅野物産など多数の来賓者出席のもと儀式は次から次へと進められ、町長の鎌入れ、本工事請負業者浅野物産の鍬入れ行事がすんで、玉串拝礼、最後に昇神退下をもつてどこおりなく神式をとじ、厚生大臣の祝辞代読、祝電披露、町長のあいさつあつてここに起工式は午後三時三十分に終り、多年の懸案でありました上水道事業は、この起工式をもつてその第一歩をふみだしたわけですふりかえつてみれば、一昨年の十二月定例町議会に水道布設許可申請を議決、翌卅一年九月十七日建設、厚生両大臣から上水道新設の認可を得、さらに本年九月廿五日三百万円の起債認可があつて、二年ぶりでここに待望の上水道事業起工が実現したことになります（写真は起工式場）

町立保育所建設工事
一七〇万円で落札

町立保育所建設工事は、三十二年度当初予算にこれが必要な予算を計上し、着々その準備を進めておりましたが、土盛工事もすんで漸く別掲八業者が参加して去る五日保育所建築工事の入札が行われ、予定価格百七十八万円に対して百七十万円で入札した建築業中村兼吉氏に落札決定し、いよいよその起工式を十六日に挙行いたすことになりました。この保育所は保育対象の子供達の幸福のために児童福祉法にもとづいて建てられるもので、これが建築費用は国から七〇万円、県から三五万円の補助があり、町から六七万円支出して行われます

明年四月に開所予定

建設場所は蒲生小学校東側大字蒲生二、七二七番地内二四〇坪の町有敷地があてられ、次に掲げる規模で町立保育所が建築されます、現在保育所は町委託の二つの私立保育所がありますが町立の保育所は今度がはじめてであり、この開所予定が四月一日でありますので、開所されまし年末年始の取扱い＝廿八日ご用納め五日から執務＝

恒例の通り年末年始における役場事務は、廿八日に御用納め、正月四日は全職員の初顔合せ、六日に仕事始めとなりますので、事務取扱いは廿八日から一月四日までの八日間休ませていただきます、なお税務等の徴収事務のみ廿日まで行います　＝総務課＝

この方面の充実強化が計られることと存じます

保育の対象家庭は？

さてここで一寸申し上げたいことは開所された場合どんなご家庭の子供が保育の対象となるかと申しますと、それは保護者が労働、又は疾病等の事由により保育に欠ける乳児又は幼児、これと同じ事由のため特に必要ある児童となつています、いいかえれば主人の奉給だけに依存せず妻も職業につくなり、家庭内職を希望する者、あるいは子供を残し夫に死なれ自活する者、父母が病気療養しているため自己の愛する子供の保育が充分なし得ない事情にある保護者の恵まれぬ家庭環境にある子供を保育所にあづけ安心して生活出来るようにするわけです

▽入札参加業者（敬称略）(1)池ノ谷建設(2)田川郡二郎(3)宇田建設(4)佐藤建設(5)新藤七五郎(6)中村兼吉(7)中井利一(8)山崎建設＝以上八業者

▽新築される保育所の規模
(1)木造平家建切妻式洋小屋組原型スレート葺
(2)建坪＝六二坪九一七
(3)構造＝保育室（一七坪五合）遊戯室（一七坪五合）便所（三坪三八四）廊下及び昇降口（七坪八六六）乳児室（四坪）保母室（二坪二五）事務室（三坪）炊事室（三坪二五）庇し（四坪一六七）計六二坪九合一勺七才

図書館だより

◆本年掉尾第廿九回読書会　十二月廿一日（土）午後五時本館第二閲覧室阿部知二作「風雪」蔵書在、講師来館、参加御自由

◆年末年始休館　（自十二月廿七日至一月五日）中「貸禁」学習参考書その他を特別貸出します

◆書架及ガイドカードの配列改善　書架増設に伴つて書架の配列を従来より一層利用者向、半接架式に改め高利用度書、近着書新着書等の書架及び時事書架（差当り原子力誘導弾、人工衛生、南極探険、冬季スポーツ等を収架）を増新設しました

◆郷土図書館資料展示　自廿六日第二回閲覧室御来観下さい

◆近着主要図書案内（続き、△印分館図書）

みんなニコニコ顔……
七つの集団祝い

明年新入学する七才の集団祝いは新生活にそつて、各地区とも公民館、婦人会共催により十五日前後に催されました、お揃いのセーラー服学童服で親達に手をひかれながら公民館や学校に集り、お祝いのことばや記念品をいただいて、一同記念撮影で終る簡素なこの行事は、もう毎年行われているのでなかなか堂に入つたものです、明年入学するこの七才の児童は全町で男女約一千百人、集団祝いで節約される費用も毎年大きな額になることでしよう、ニコニコ顔で集団祝いに集る児童の心に何を感じたことか、ひたすら親の愛情で育つたこの子達は、いずれ第二の世代を背負う大切な児童です町民皆さんとともに児童がすくすくと育つことを祈り合いましよう（写真は増林地区の七才の子供達）

―あちら―こちら―

荻島農業協倉庫めでたく竣功

荻島農業協同組合では九月から石造倉庫の建設を進めておりましたが、去る十一月廿九日めでたく竣功し、名士多数を招待して盛大にその竣功式を挙行しました、越谷浦和県道沿線堀之内地内に建坪六〇坪の石造倉庫が建てられたことによつて、いままで完全に米麦を収容しきれなかつた懸案もここに解決されたわけで、組合員の喜びは非常なもの…この建設資金は新農村建設事業として公庫融資百六十万円を含めて総工費二百三十三万円を要し、四千俵の収容可能の堅牢なものです（写真はめでたく竣功した荻島農協倉庫）

オート三輪で可搬式ポンプ、増林消防分団が考案

増林消防分団第一支部（部長島田晴雄氏）では、町から引渡しをうけた可搬式ポンプの迅速な便利な機動力発揮を考えておりましたが、このほど島田部長の発案でオート三輪車の後部に引手をつけ、可搬式ポンの前部引手にリヤカー式カギ穴を設けて万一火災の場合はオート三輪で牽引し現場にかけつけるようにいたしました、これによつて次の効果があると全団員張切つております

▽出発準備が一分で三名で出動が完了する

▽速度は毎時二五㌔米は可能で消防員が三輪車に便乗できる

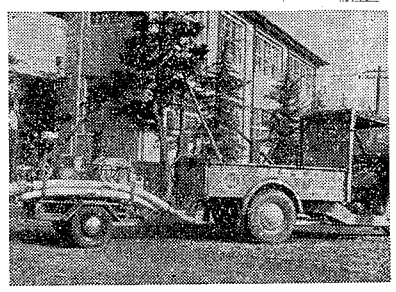
▽水利がよければ三輪自動車に牽引のまま放水できるとともに、火災箇所一里以内であれば四輪自動車ポンプ同様の威力を発揮出来る（写真は考案された牽引可搬式ポンプ）

各地区の話題

増林公民館で清菜共進会

増林公民館主催の清菜共進会は去月廿八日挙行、総出品点数二八点について公正な審査が行われました結果次の入賞者が決定しました（敬称略）

▽一等賞鈴木高次郎▽二等井上坦、染谷峯蔵▽三等山崎勝信、鈴木吉五郎、鈴木音吉、中島倉太郎、岩井作次郎▽次点松沢誠一郎（増林公民館島田氏）



町で責任・業者が運営の屎尿汲取業・一月開始

町ではかねてから研究調査しておりました屎尿処理問題を、このほど業者との話し合いもつき、皆さん方の排泄される屎尿を衛生的に又迅速に処理しようと、次の方法で一月からこれが業務を開始することになりました、屎尿汲取業務は町の清掃条例にもとづいて町が責任をもつて、業者にその運営を委託するものでいわば半町営で行うものです、この清掃区域は越ケ谷地区、大沢地区（鷺後、高畑を除く）だけとなつております、以上の区域の方で、平素からこのことでお困りの方、又季節的に故障のある方、料金等の問題で面白くない方は町の行うこの屎尿処理業務に御賛同下され、別記によつてお申込み下さい

記

一、直接汲取業務は埼屎連（代表者秋山長寿氏）が町との契約に基いてこれを行うこと

二、月三回以上必要に応じ汲取をなし、業務開始の時期は一月一日の予定であること

三、汲取手数料は条例の定めにより一たる（二斗入）金二十円、半たる十円であること

四、汲取券の取扱いはごみ券同様、衛生役員方を通じ行い別記

五、業務遂行にあたつて、一切の責任は町役場が負い、苦情ある方は衛生役員方を通じ、又は直接厚生課へ申出て下さい

汲取の際従業員にお渡し下さい

町の行う汲取業務に賛同しこれが申込をいたします
昭和三十二年十二月　日　右　印

越谷町長　大塚伴鹿殿

経由衛生協力員印

屎尿汲取申込書

町内名	世帯主又は代表者氏名	家族数又従業員数

町税はこのように支出

十一月分の主な支出

議会費	六、九四〇円	社会及労働施設費	一六一、七四〇
役場費	二、五二六、二二四	保健衛生費	二六二、一七三
消防費	二八三、二九九	産業経済費	三七四、四一一
土木費	一、二五〇、五二八	財産費	八、七一七
教育費	一、五一〇、八四三	統計調査費	一、八二〇
		選挙費	二三、六一〇
		公債費	二九一、九三七
		諸支出金	二、二一一、九九五
		月計	八、九一四、二三七

綴じて御保存下さい

20日まで……

不幸な人びとに愛の手
歳末たすけあい運動……

歳末を迎え、ことしも全国的に社会福祉運動が月間行事として実施されておりますが、越谷町でも去る一日から来る廿日までを歳末愛の運動実施期間として、不幸な人々への愛の手をさしのべすべての町民が楽しい新年を迎え得るよう、町及び社会福祉協議会が中心となつて展開されております、町には生活保護法による被保護世帯をはじめ、未帰還者の家族、戦争によつて一家の支柱を失つた遺家族など約三百世帯がございます、こうした御家族に心から温い援助と激励の手をさしのべ、そしてともども明るい気持で年を越し、あたたかい正月が迎えられることを祈つて、みんなで協力いたしましよう

昭和三十二年度歳末
愛の運動実施計画
一、一握拠出運動　粳米最低一合
二、越冬資金勧募　一世帯十円以上
三、衣料品及び日用品雑貨等の醵出（主として市街地対象）
なんでも一点醵出お願い
四、特別援護　例年通り一世帯二百円をお歳暮として送付
以上の計画で、すでに各地区共役員の方がご家庭を訪問し物資の蒐集にあたつております、ぜひ御協力をおねがいします

31日まで

保険税納入促進週間

只今県下一斉に保険税納入促進月間が行われています、越谷町国保課でも職員をあげて納税促進をはかつていますので、年末をひかえ各御家庭とも出費の多い時ではありますが、私達の健康を守るための保険税であるという趣旨をよく御理解下されまして、この段一層の御協力お願申上げます

（国民健康保険課）

（参考）十一月末現在において保険税収納額七、七四四、五二八円の収入に対して、療養給付費一〇、五六六、二二二六円、療養費五八三、七三六円、助産費二〇五、五〇〇円葬祭費二〇八、〇〇〇円の計一一、五六三、四六二円支出されました、よつて皆さんから納めていただく保険税の収納率によつて国保の運営は大きく左右されます、どうか国保税納入には一層の御協力をお願いします

越谷鳩の会が
歳末愛の寄附金

本紙広報板でお知らせした通り県鳩連合会、越谷鳩の会は、才末たすけあい運動に呼応して去る八日鳩の競売会を催しましたが、その売上金四万五千円を町社会福祉協議会に寄附されました、この寄附金は高橋一男氏が代表で去る十日町長を訪れ不幸な人々にさし上げて下さいと手渡され、町に二万五千円、国県に一万円宛寄附されたものです

町当局ではこの美しい行為に感謝し、鳩の会の精神を体して早速不幸な人々にこの尊いお金をおくり、みんな楽しいお正月がむかえられるように手配することになりました、国県への寄附金手続についてもNHKを通じて鳩の会の意を伝え手配いたしました

盛況の農産物共進会
兒童作品展示会も賑う

越谷町主催第二回の農産物共進会は、すでにお知らせした通り、十一月三十日に各地区から出品農産物四五〇点が会場の大沢中学校に搬入され、会場に整然と陳列したのち審査員によつて審査が行われ、翌十二月一日には出品物の一般公開並びに即売がなされ、一般農事相談、農機具展示、農事相談なども行われ、管内小中学校並びに八汐村小中学校児童作品七〇六点も共進会とかねて展示されるなど、数多いこれらの催しに人出はざつと一千余人の賑さで、越谷町農産物の名声を一段と高めた盛況さでありました、午後一時からは入賞者の表彰式が行われ、町長から日頃の努力に感謝する賞状と記念品が入賞者にそれぞれおくられました、次にその一等入賞者と二等以下の人数並びに児童作品受賞者代表を掲げます、なお三日目の十二月二日は午前中一般公開と即売あり、午後から出品物の搬出を行うわけですが、出品物全部売切れのうれしい悲鳴で、お金で出品者に渡すことになりました、三日間にわたる越谷町農産物の祭典は盛況裡に終ることができました

「出品された方々ご感謝」この度の農産物共進会には奮つて沢山の農産物をご出品下され、しかも優秀な成績で終了できましたことは、越谷町農産物の名声を高める上からもまことに喜ばしいことであり感謝に堪えないところであります、ここに出品された方々に厚く御礼申し上げると共に衷心から感謝申し上げます

越谷町長　大塚伴庫

入賞者（敬称略）

▽特第　四名
玄米　斎藤時三郎（荻島）
山東菜　黒田　一郎（大袋）
白菜　鈴木　賢治（増林）
玉子　島田　巖師（同）

▽一等　二十名
稲株　矢部　酉寿（荻島）
玄米　松沢政之助（〃）
玉子　矢部　よし（〃）
白菜　長野　徳治（大袋）
慈姑　尾井正三郎（新方）
同　白鳥　春雄（〃）
白菜　黒田勝三郎（〃）
稲株　高橋　平治（桜井）
大豆　大野　義雄（〃）
玉子　野口岩之助（大相模）
玄米　豊田　丑松（〃）
白菜　高島熊次郎（〃）
葱　鈴木　巖（増林）
山東菜　榎本　恵禧（〃）
同　須賀千代松（〃）
同　染谷　基（〃）
同　今井　基善（〃）
丸繩　平野　盛一（〃）
毛五五　鈴木　源吾（〃）
山東菜　中村庄三郎（〃）

▽二等　四十名
▽三等　一二〇名
▽参加賞二六六名
▽総出品点数四五〇点
▽児童作品展覧会成績表
小学校の部
出品数（図画三〇五、書方一五六）入選数（一一〇、六五）
中学校の部
出品数（図画一〇三、書方一四二）入選数（三五、六〇）
▽受賞者代表
小学校＝図画松沢紅子（大沢）
書方関口幸子（〃）
中学校＝図画松永知子（〃）
書方矢代裕一（〃）

行政連絡員会議で申合せ
来春から正月を一月に

新生活運動の一つとして、正月を一本化する運動が全国的に展開されておりますが、なかなか旧い習慣がぬけきれず遅々として進まない現状です、当町においても新町発足以来、社会教育の一行事として年々教育関係機関が新正月にきりかえる運動を推進してまいりましたが、依然として旧正月で行う始末です、そこで合併三周年を機とし来年こそは町内一斉に正月を一月に実施出来るようにしようと、教育委員会、社会教育委員会、青年団、婦人会、公民館等関係者が集り再々協議した結果、次の通り正月が一月に出来る理由をあげて町長宛に陳情書が提出されました、町長としましては以上の陳情趣旨から町の末端連絡行政機関である行政連絡員（広報協力員も兼ねる）の全員協議会にはかり、全町一斉に正月を一月に実施するようこれが推進をはかることになりました、行政連絡員協議会は去る十日、十二日、十三日の三日間にわたつて開かれ慎重に討論協議されましたが、この際越谷町合併三周年を契機として遂次正月を全町一斉に一月することが町民精神間の結束、融和を計る上からもまた学校教育上の面からもまことに有意義なことであると全員の意見が一致し、来春正月から実施する気構えを醸成することになりました、そこで差当り神かざり、神社参拝、新年のあいさつ、国旗掲揚などの特定の行事をすまされるように町長から各町民に協力方の印刷物を配布することになり、すでに各家庭及び行政連絡員さんから配布されたことと思います、町民皆さんのご家庭にはそれぞれのご事情があるかと存じますが、是非共正月を一月にする運動にご協力下さいますようおねがいいたします

「参考」

前言の陳情書に記されてありますように正月が一月に出来る理由

1 機械器具の発達から秋の作業が早めに終ることが出来る

2 学校行事と社会行事の一致することが理想的でありますが正月のみは可能性あり

3 同町内で新年のあいさつがまちまちでは融和の点からも不自然なゆき方である

4 全国的からみても一月が多くなつている

町内一周駅伝競走
越中連続優勝　青年団は増林青

昨年に引続いて第二回目の町内一周駅伝競走は町体育協会、中体連、青年団共催により、小雨降る肌寒い日の去る八日、中学校九チーム、青年団十一チーム（大間野部落が一般として一チーム参加）が参加して行われ、中学の部では越谷中が一時間四分二六秒で、青年団では一時間四六分一二秒の増村青年団がそれぞれ優勝しました、記録はつぎの通りです

▽中学校の部（カッコ内は記録）
(1)越谷中(2)出羽中（一・四九・四四）(3)新方中（一・四九・五二）(4)大袋中（一・五〇・二六）(5)荻島中（一・五一）

▽青年団の部
(1)増林青(2)出羽青（一・四八・四八）(3)大相模青（一・四九・一九）(4)蒲生青（一・五一・〇七）(5)新方青（一・二二・二九）

広報板

来る廿日から
浦和行バスの時間改正

今度越谷浦和間国際興業バスの時間が次の通り十二月廿日から改正になりましたのでお知らせいたします

（町商工会並びに商工係）

浦和発時間	越谷発時間	浦和発時間	越谷発時間
六時三五分	七時一五分	一七・一〇	一八・〇〇
七・二五	八・一五	一八・一〇	一九・〇〇
八・一五	九・一〇	一九・四〇	二〇・三〇
九・一五	一〇・〇〇		
一〇・四五	一一・三〇		
一二・一〇	一二・五五		
一三・一〇	一四・〇〇		
一四・一〇	一五・〇〇		
一五・一〇	一六・〇〇		
一六・一〇	一七・〇〇		

休電変更のお知らせ

十一月一日付当紙上でご案内申し上げました、十二月十六日全線休電については変電所の建築工事遅延のため誠にご迷惑と存じますが、次の日時に変更させていただきます

（東京電力越谷営業所）

▽十二月廿三日（月曜日）午前八時から午後三時まで（雨の場合は翌日廿四日同時刻に順延）

年賀状はお早く

年賀郵便特別取扱期間は十二月十五日から同月廿八日までですが、おそくなりますと元旦配達に間に合はないこともありますから、是非とも来る廿五日までにお出し下さい、年賀状をお出しになるときは、たばねて「年賀状」と書いた紙片をつけ、なるべく郵便局の窓口へお出しになつて下さい

（越谷郵便局）

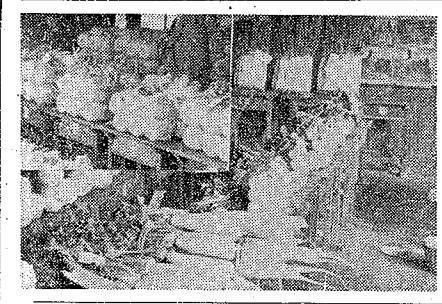
家屋再調査実施出羽、荻島両地区

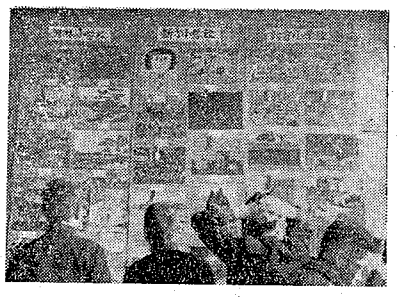
只今全地区にわたつて遂次実施中の家屋再調査は、今度次の通り実施されますからご協力をおねがいいたします

（税務課）

▽出羽地区＝十二月十四日から同月十六日まで
▽荻島地区＝十二月十七日から同月廿日まで

なお全地区の新・増・改築の調査は十二月廿一日から同月廿五日まで行います





（写真説明上は野菜類、下は児童作品）

基本選挙人名簿確定

各地区調査員さんの御協力により九月十五日現在で調整しました基本選挙人名簿が、次の通り十二月二十日をもつて確定されました、昨年より男一〇七人、女三二八人の計四三五人が増となつています

投票区	男	女	計
▽桜井第一	三五三	四七七	八二九
第二	二七九	二八〇	五五九
第三	二四〇	二三三	四七三
第四	二四七	四三五	八六二
第五	二四三	二七八	五二一
第六	五四六	五六八	一一二四
第七	四二〇	四二〇	八三〇
第八	二九三	三三三	六二六
▽大袋第九	四九三	五〇六	九九九
第一〇	二九五	三二〇	六二五
第一一	二三五	二三〇	五〇五
▽荻島第一二	三三一	三三〇	六六一
第一三	二三五	二六六	五二一
第一四	二〇七	二二二	四二九
▽出羽第一五	五五三	五六二	一一一八
第一六	四四一	五三五	九九六
▽蒲生第一七	六六八	七四〇	一四八
第一八	三二六	二四一	六五七
第一九	二六九	二三〇	六二九
▽大相模第二〇	四三五	四三六	八七一
第二一	三六五	三六〇	七四五
第二二	二九五	二六九	五六三
▽越ケ谷第二三	一、三〇八	一、三二七	二、六三五
第二四	一、〇六六	一、一五六	二、二二二
▽大沢第二五	八四三	九六六	一、八〇九
第二六	七〇三	七五五	一、四七七
▽川柳第二七	三三六	三三四	六六〇
合計	三、三六五	三、二〇三	六、五六五

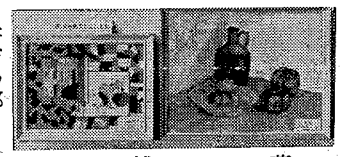
教育委員会だより

第二十七回（昭和三十二年）十二月月例優秀作品

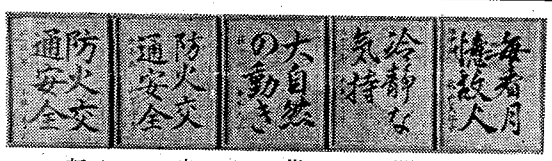
図画の部

蒲生中三年　中野　富雄
新方小五年　早川あさ子
出羽小一年　島村満寿子

書方の部



荻島中三年　原田三江子
越谷中三年　渡辺　久え
小沢千江子



越谷中三年　秋山美江子
蒲生中三年　木島とき子
荻島中三年　鈴木　久江
出羽小五年　山下　洋子
新方小五年　小林　卓